

事務事業名	真岡市防犯協会支援事業				担当	市民生活部 市民生活課 市民生活係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	9	防犯対策の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市安全で安心なまちづくり条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和50 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	13. 諸費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	真岡市防犯協会は、地域での防犯灯の設置・管理への助成、婦人防犯クラブ研修会の開催支援などを行っており、市はそれに対し支援している。 平成27年度防犯灯LED化事業を実施。 平成29年度から真岡市婦人防犯クラブ連絡協議会の名称を真岡市女性防犯クラブ連協議会に変更した。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 29年度実績 協会へ補助金の支出（防犯灯の新設補助・管理補助等の支出、女性防犯クラブ研修補助等） 防犯灯LED化事業の実施（メンテナンス付きリース事業） 30年度計画 29年度と同じ		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 補助金の額	千円	11,342	12,485	4,422	4,562	4,562
		イ 防犯灯の新設数	灯	75	82	91	86	90
		ウ 防犯灯維持管理数	灯	5,787	5,861	5,926	6,022	6,108
		エ 女性防犯クラブ研修会	団体	28	26	30	26	51
		オ LED防犯灯数	灯		5,838	5,920	6,011	6,101
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡市防犯協会		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 市内自治会(区)	区	134	134	134	134	134
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 防犯灯の設置・維持管理、女性防犯クラブ活動支援により、市民の防犯に対する意識の高揚を図る。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 犯罪発生数（真岡署管内）	件	848	901	821	643	600
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 犯罪を防止する。		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 真岡市で生活するうえで、犯罪に対する不安を	%	54.3	56.2	53.6	54.3	50.0
		イ 感じている市民の割合（市民意向調査）						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	11,342	12,485	4,422	4,562	4,562
	事業費計(A)	千円	11,342	12,485	4,422	4,562	4,562	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	150	150	150	150	150
		人件費計(B)	千円	633	629	623	623	623
トータルコスト(A)+(B)		千円	11,975	13,114	5,045	5,185	5,185	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市民の防犯意識の高揚を図り、安全安心の環境づくりのため防犯協会が設立された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	地域住民による自主的な防犯活動（防犯パトロール、登下校時の見守り活動、車両へのステッカー貼付）が、各地で実施されている。 児童等に対する声掛けや不審者の出沒等の事案が増加しており、子どもの安全確保のための活動が、活発となっている。 平成27年度防犯灯のLED化により平成28年度補助金見直しを次のとおり行った。 管理補助金 2,000円/灯、新規設置既設電柱利用10,000円 15,000円/灯、新規設置新設電柱利用15,000円 20,000円/灯、交換補助10,000円/灯（新設） 平成29年度から真岡市婦人防犯クラブ連絡協議会の名称を真岡市女性防犯クラブ連協議会に変更した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	区画整理等で整備された地域などを中心に、防犯灯の新設要望が多い。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 防犯活動の推進は、安全安心のまちづくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 防犯灯の設置や防犯意識の高揚が、安全安心のまちづくりにつながる。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 防犯灯の設置や維持管理、女性防犯クラブの活動支援等により、防犯に対する市民の意識の高揚を図っている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 地域の要望によって、防犯灯を整備している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市民の防犯に対する意識の高揚が図られなくなる。 犯罪を誘発する恐れが高い。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 防犯灯の設置や維持管理に必要な事業費である。 防犯灯をLED化することにより経費の削減ができた。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							